

ひぜんこくぶんじあと  
備前国分寺跡

りょうぐうざんこふん  
両宮山古墳

# しせき 史跡だより

第14号

## ふん きゅう すそ 両宮山古墳の墳丘裾保存整備工事 に着手しました



後円部西側の工事完了部分

史跡両宮山古墳では、ため池（両宮池）と接している墳丘裾の土が波の浸食で徐々に削られてきており、このままでは大きな崩落が起きてしまうことが懸念されていました。そこで、削られた部分を補強し、これ以上浸食が進むのを防ぐための工事を平成 29 年 10 月より始めました。一年目の工事では、後円部西側の浸食部分に盛土を詰め、割栗石で補強しました。

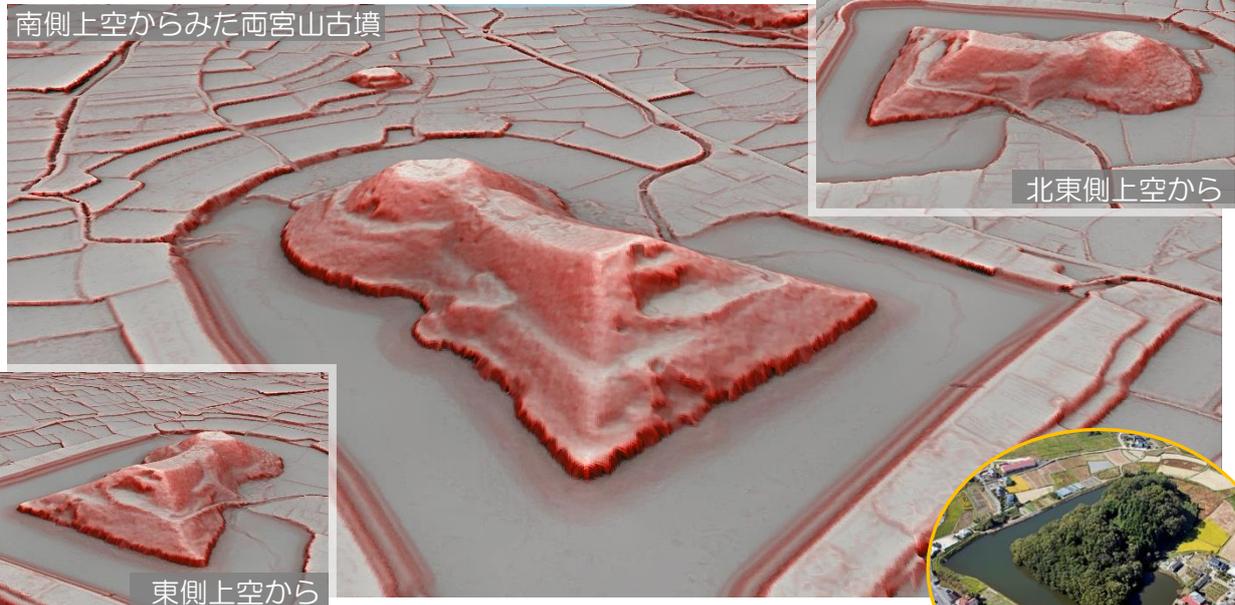
工事は毎年 10 月～3 月の期間で、複数年にわたって行う予定です。工事車両の通行やため池の開栓など、近隣のみならずにはご迷惑をおかけしますが、郷土の文化遺産を未来に受け継いでいくため、どうぞご協力をお願いします。



浸食で土がえぐり取られて空洞ができ  
樹木が倒れかけているところ

## 両宮山古墳の立体地図が完成しました！

南側上空からみた両宮山古墳



北東側上空から

東側上空から

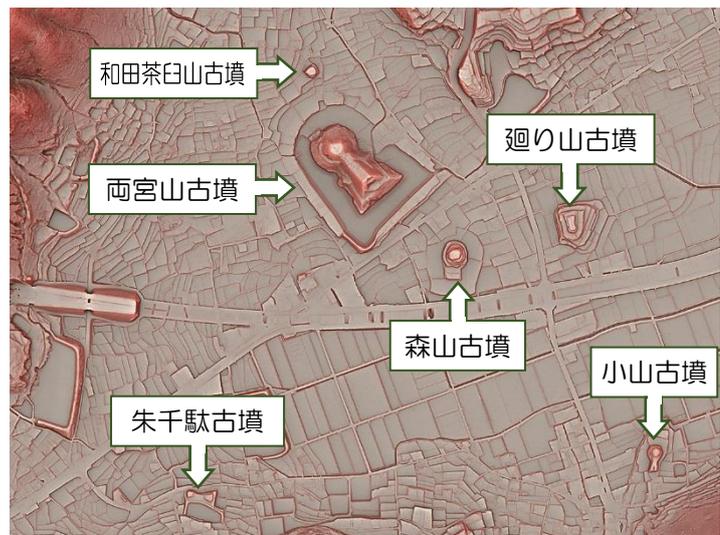
両宮山古墳の墳丘（赤色立体地図）

従来の航空写真

12月に両宮山古墳の航空レーザ測量を行いました。これは、墳丘の上空にヘリコプターを飛ばし、そこからレーザを地面に向けて当て距離を測る測量方法で、精密なデータを元にした墳丘測量図や立体地図が完成しました。

今回完成した立体地図では、実際には樹木におおわれている部分まで見ることができるので、従来の航空写真や測量図では分からなかった地形のわずかな変化も読み取ることができます。さらに、コンピュータ上で指定した位置を計測したり、さまざまな角度から古墳をながめることもできます。このように、墳丘を立体的に分析することで、両宮山古墳の設計や築造方法を解明する手がかりとなります。

また、今回のレーザ測量では、両宮山古墳とあわせて周辺の古墳の計測を行い、正確な位置関係の立体地図も作成しています。これらの資料を元に、新たな視点から両宮山古墳の研究が進展することが期待されます。



両宮山古墳と周辺の古墳（赤色立体地図）

赤磐市教育委員会 平成30年5月1日発行

〒709-0816 岡山県赤磐市下市 337番地 TEL 086-955-0710

URL <http://www.city.akaiwa.lg.jp/bunkazai/index.html>